

環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、四国の北西部に位置しており、多島美の瀬戸内海やリアス式海岸の宇和海、西日本最高峰の石鎚山などの豊かな自然に囲まれております。

このかけがえのない貴重な財産を健全な姿で次の世代に引き継いでいくことが、私たちに課せられた大きな責務であり、県民一人ひとりが環境意識を高め、持続可能な循環型社会を形成していくことが強く求められているところで

す。

こうした中、本県では、昨年策定した第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」において、「調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”やさしい愛顔^{えがお}あふれる『えひめ』づくり」を基本政策の一つに位置付けており、今後とも、本県の豊かな自然環境を保全するとともに、環境と調和した安心・安全な暮らしを実現していきたいと考えております。

また、昨年12月に策定した「生物多様性えひめ戦略」に基づき、急速に失われつつある本県の生物多様性の保全に向けて、さまざまな施策の着実な推進を図ることとしております。

更に、昨年の東北地方太平洋沖地震により、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故が発生したことを受け、本県では、発生直後から環境放射線や放射性物質の県内への影響について監視を強化しており、引き続き、県民の生活環境を保全する取り組みも充実させることとしております。

今後とも、県民のかけがえのない財産である自然環境を守り、全国に誇れるさわやかな環境先進県の実現を目指してまいりますので、県民の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

この「愛媛県環境白書」を通して、環境に関する県内の現状や施策が、多くの方々々に認識され、環境保全に向けた取り組みの更なる促進につながることを期待申し上げます。

平成24年2月

愛媛県知事 中村 時広

